２０２２年１０月１日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市須和田2-12-3
fax　047-705-6018
携帯　090-6310-3294
メールアドレス
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログ・清水みな子を検索

日本共産党市川市議会議員
清水みな子
あおぞらメール
No.147

９月議会 前年度決算に反対
給食費の無償化など可決

９月２日から30日まで、９月議会が開かれ、本会議の代表質問はやなぎ議員が担当しました。12日から１週間、昨年度の決算審査委員会が開かれ、私・清水が決算委員として臨みました。決算は村越市政最後の年で、シャワー室移設などがありました。共産党は昨年度の決算認定に反対しました。

９月議会で給食費の無償化が提案され、可決しました。中学校が来年１月から、小学校が来年４月から無償となり、予算は年間17億７千万円です。

９月27日、給食費の無償化を質問した議員に、市長は「自分の任期の間は実行します。時限立法です」と答弁。たとえ市長が代わっても、継続する事業とし、子どもたちの安心で充実した食の環境を整えるためにも、継続を要望していきます。

決算審査について
主な反対理由

・非識別加工情報提供

３年度の契約はありませんでしたが、条例がある以上、毎年予算化されます。市には、あらゆる情報があり、たとえ加工したとしても、情報提供すべきではないと、条例の廃止を要望。

・情報システム費

総額48億円。あらゆるシステムが、長期継続で随意契約ということで、これでは競争原理も働きません。見直す必要があるのではないかと提案。

・生活保護費の委託

市は生活保護の就労支援、健康管理、債権回収、訪問活動を委託しています。ケースワークの外部委託を進めたのは市川市です。ケースワーカーの人数が足りないのではないか。人数を増やすことを要望。

・市長室シャワー室撤去

シャワー室を設置したことも大きな話題となりましたが、シャワー室の撤去も３年度に突然行われました。昨年の９月議会のことです。議会では「移転しない」「そのまま使用する」と答弁していましたが、議会中に、「少年自然の家」の入院待機ステーションに移転しました。自費での撤去を求めていた議会にも、怒りの声をあげていた市民にも一切の説明なし。さらに、３年度はシャワー室は一度も使われなかったということです。設置に３６０万円、移転に１２５万円、合計４８５万円、税金が無断で使われたことになり、認めるわけにはいきません。

・小中学校のトイレ改修

３年度は、小学校３校、中学校１校が改修し、改修率は各62%、58%とまだまだ低い状況です。建て替えるときに全面改修では、いつになるかわかりません。簡単に便座をのせれば洋式になるものもあり、一日も早いトイレの洋式化を要望。

・学習交流施設「市本」

都内の某所をモチーフに「市本」が開設しました。席が８席、埋まればあとの方は座れません。改修工事に５２００万円かかり、そのうち委託料が１千万円。まだまだ知られていません。市民に本当に必要な施設なのか、市民のニーズにあったものなのか、考え直す必要があると要望。

・決算審査意見書

市税収納率９８・９%、８年連続で県内１位と評価。徴収体制を強化し、効率的・効果的な再建管理を勧められたい、としています。その裏で、常識外れの取り立て。相談では、「朝６時半に学校に行く子どもがいる家庭に、10人もの男性が押しかけ、家探しを強行。子どもが怯えてしまった」ということです。丁寧な相談体制を要望。

葛南土木事務所 今年度の工事箇所など聞き取り調査

8月17日、葛南土木事務所に聞き取り調査に行きました。浅野ふみ子県議候補、徳武純平、泉せいじ市議候補と、市議団勢ぞろいで伺いました。

今年度の市川市内の工事箇所、進捗状況など聞き取り、それぞれの地域の県道への要望書を手渡しました。

清水地域では、4箇所の工事が進められています。①県道市川松戸線の歩道整備、一部歩道の整備をした（国府台病院付近）ということですが、今年度も少しずつ整備していくとのこと。②国分小学校前から曽谷橋までの歩道整備。ここも工事が進められていますが、用地買収が出来ていない部分があり遅れているとのこと。③国道14号と京成市川真間駅へ向かう交差点の改良。④市川橋の修繕を行うこと、となっています。

今年の市民アンケートにも、県道や河川の整備などが出されています。各地域ごとに要望します。

安倍元首相の国葬に反対

国民の半数以上が反対していた安倍元首相の国葬は、9月27日強行されました。国葬に法的根拠はありません。費用も16億円といわれていますが、税金で賄われることに批判も増大します。岸田首相は丁寧に説明すると言いながら、全くしていません。支持率低下につながっています。

写真は、9月18日の市川駅での国葬反対宣伝です。この日は市内6駅同時に、多くの団体・市民が集まって宣伝し、私もスピーチしました。

市川市では、国葬について、半旗も掲げませんし、学校などにも強要はしませんでした。また、市長は「国葬の招待状が来た。個人的に行く」と表明していましたが、参列しませんでした。

生活と健康を守る会・憲法学習会

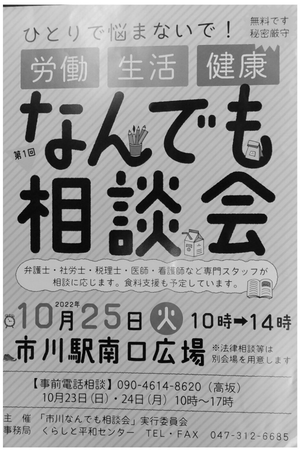
「なんでも相談会」開催

10月25日（火）10時～14時

市川駅南口広場にて

9月24日生活と健康を守る会（生健会）が、「なんでも相談会」に向けたプレ企画として、憲法学習会を開きました。講師は、自由法曹団・千葉県憲法会議事務局長の田村陽平弁護士です。

「なんでも相談会」は、派遣村のように炊き出しも行い「労働」「生活」「健康」と、相談体制もしっかり取り、「だれでも相談に来てください」と呼びかけています。込み入った相談は、近くに会議室も借りていますので、気軽においでください。お友達も誘って。



無料法律相談

◎10月11日（火）
担当　井出達希弁護士
◎11月8日（火）
担当　田村陽平弁護士
午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分。
予約は清水又は控室まで

《主な活動報告　8、9月》

☆8月20日～21日　高知市で保育合研

コロナ禍でここ3年は集う全国集会は開かれませんでしたが、今年は、高知市で開催されました。全国の保育園で、コロナ禍での様々な取り組みを、涙ながらに語り合う集会となりました。保育士と子どもたちは距離を取れません。保育士がコロナにかかると、子どもたちの心配、家族の心配、ソーシャルワーカーの苦しさなどが語られました。そういうなかでも、「地域の方たちの支援が心強かった」とか、「知恵を出し合って、危機を乗り越えてきた」など、共感する話が多く出されました。

☆9月18日　第49回中央社会保障学校from千葉オンライン学習会に参加

17日、18日と2日間、千葉県で、社保学校が開催され、18日オンラインで学習会に参加しました。「社会保障運動入門講座」講師は、神戸大学准教授・井口克郎さん。運動入門でしたが、もう一度、改めて学習する機会となり、良かったと思います。今後の運動に活かしていきます。

☆9月24日　第10回市民ミュージカル観劇

4年ぶりに開催。三世代の市民約100人が3か月間の練習期間を経て、演じ切り、歌い踊りました。今回のテーマは「NEXT～いちかわ黄金伝説」。市民マラソン、京成電鉄労働者のたたかい、行徳の神輿、野鳥を守る運動から発展し野鳥観察舎の建設まで。市内の逸話を物語にしたもので、熱演に感動しました。